

世界を学ぶ“英語楽習”

～共生の時代を生きる学習者に～

埼玉新英研6月例会・総会

2014年6月1日(日) 武蔵浦和コミセン サウスピア8F

埼玉大学大学院英語教育専修

根岸 恒雄

1 ワークショップ① 私の自己紹介

Questions about Mr. Negishi

- (1) クイズ形式で自己紹介。
- (2) 英語で“インターラクティブ”。
かなりの量の英語を聞かされる。
- (3) そして楽しい。
- (4) 相手が生徒でも大人でも大丈夫。

2 ワークショップ② 今日のWarm Up 単語しりとりゲーム

- (1) 前の人を書いた英単語の最後の文字から始まる単語を次々に書いていきます。最初の文字は教師が指示。
(例 book key yes school lucky)
- (2) 3分程度の制限時間内に、どれだけ多くの単語を書けたかを競います。
- (3) 「おせえー！」などと否定的な発言をすると失格になります。教えるのはOKです。

ティームビルディングの一環として行い、
メンバー間の人間関係を良好にします。

3 英語教育の目的を考える。

(1) あなたは英語(外国語)教育の目的は何だと思えますか？

(2) 私が考えている英語教育の目的

1 英語教育を通して学力形成を進める。

＊英語を使える力を高める、母語を豊かにする

2 英語教育を通して人格形成を進める。

＊世界と出会わせ、共生の時代を平和的に、人々と力を合わせて諸課題を解決していける人間に

(3) 英語教育の長いスパンの中で2つを追求する

根拠1 中学校学習指導要領では

(1)第1章 総則(第1 教育課程編成の一般方針から)

- ・ 公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓(ひら)く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする(学校の教育活動全体を通して行うと強調)

(2)第2章 各教科 第9節 外国語

- ・ 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

根拠2 ユネスコの勧告(1965年)では

『外国語教育はそれ自体が目的ではなく、その文化
的および人間的側面によって、学習者の知性と人格
を鍛え、よりよい国際理解と市民間の平和で友好的
な協力・協働関係の樹立に貢献すべきである』(各国文部省

に

根拠3 外国語教育の四目的では

【外国語教育の四目的】(2001年改訂版)

- 1 外国語の学習をとおして、世界平和、民族共生、民主主義、人権擁護、環境保護のために、世界の人びととの理解、交流、連帯を進める。
- 2 労働と生活を基礎として、外国語の学習で養うことができる思考や感性を育てる。
- 3 外国語と日本語とを比較して、日本語への認識を深める。
- 4 以上をふまえながら、外国語を使う能力の基礎を養う。

私の目的論に賛同してくれる人たち

1 **岩手県の若い先生他**、「先生の本をバイブルのように読んで実践しています。英語教育でもこんなふうにはできるんだと。」

2 **広島大 柳瀬陽介先生**(大修館『英語教育』10月増刊号)
「英語教育図書—今年の収穫・厳選12冊(2011年度)」の中で

『**楽しく英語力を高める“あの手この手”—教科書の扱い・歌・協同学習**』

「薄くて読みやすい本。しかし実は深い。読みながら私は何度も教室場面を想像したりしながら、著者の思考や判断や感情を追体験しようとした。 . . . (中略) . . .

著者の**根岸先生は英語(外国語)教育の目的を、学力形成と人格形成の2つとする**。「目的なんて指導要領に書かれてあるのだから、教師自ら考える必要などない！」という声も聞こえてきそうだが、**別に指導要領に反したことを目指しているわけではない**。**大切な事は授業の目的を自分の言葉で語ることだ**。自らが日常使い、それによって**人生を切り開いている言葉で語ることによって、授業は教師の人生と深くつながる**。第1章は年間の見通しや授業開きについて述べられているが、ここに著者の「**つながりの哲学**」がよく表現されている。第2章はWarm Up、第3章は教科書の扱い、第4章は英語の歌についてだが、こういったところはつまみ食いの読み飛ばすことなく、ぜひじっくり読んでいただきたい。 . . . **やさしくて、わかりやすく、実は深いという、ある意味理想的な本です。**」

他の先生はどう考えている？

(1) 胡子(えびす)美由紀先生(広島市立早稲田中)

「4月にルール以外に生徒達に宣言することがあります。
それは、

- 1 授業はみんな(生徒)と先生とでつくっていくものだ
- 2 楽しく、かつ力がつく授業にしたいのだ
- 3 先生はみんなに英語の力をつけてもらいたいのだ
- 4 グローバルな視点に立って物事を考え行動できる人になってもらいたいのだ」 (2011)

(2) 英語授業を通して、**学力形成と人格形成を進めること**は、**多くの良心的な英語教師が願い、やろうと思っ**
ていることではないでしょうか。こうした合意を広げたい。

4 始めてみましょう、協同学習！

(1)協同学習とは

少人数集団で自分と仲間の学びを最大限に高め合い、全員の学力と人間関係力を育て合う教育の原理と方法 (江利川、2012)

(2)実践の目安としては

英語教育の効果(学力形成や人格形成)を最大限に高めるために、全体での授業とペア・グループの活動や学び合いを有効に組み合わせて授業を行う (根岸、2013)

(3)協同学習の具体的実践例

- ① 基本文(新文法事項)導入の場合**
- ② 新出単語や本文学習の場合**
- ③ 3つの活動で英語の力をつける**

A Power Up English

B Smile Input

C 重要単語

- ④ 作成メモで準備し、自己表現へ**
- ⑤ 歌導入の場合**
Reading-Listening方式
- ⑥ その他**

5 ワークショップ③ Warm Upの中から

3つの活動で英語の力を高める

週4になり、教科書が変わってから始めた活動。

(1) Power Up English (全体→ペアで)

習った文法・表現を活用し、友と交流する中で定着をめざす。言語活動の充実にも役立つ。

(2) Smile Input (全体→ペアで)

基本文や表現の定着をめざす。

(3) 重要単語 (全体→ペア→個人で)

大幅に増えた単語の中から重要なものを選び、練習とテストで定着をめざす。点数記録は班ごとに。

3つの活動の検証、生徒の声

テスト名	2年1組	2年2組	2年3組
Program1 (5月)	31.0	27.6	29.1
Program3 (前回比)	28.7(-2.3)	25.5(-2.1)	26.1(-3.0)
Program5 (前回比)	35.4(+6.7)	31.4(+5.9)	35.9(+9.8)

名前	Power Up English について	Smile Input について	重要単語について
Kさん	テスト前に音読したら、文章が書けるようになった。	会話に使えるものばかりで、もっと授業の中で音読したい。	要点をしばって単語練習ができ、テスト勉強に活用しやすい。
S君	隣の人や違う班の人達と会話をしながら学べたのでよかったです。	使い方のわからない文法がたくさん書いてあって、とても便利でした。	知らない単語を表にして、テストをするので、今までわからなかった単語が覚えられてとても良かったです。
Kさん	その文の使い方がよくわかった。	基本をガッチリできた。	単語が覚えやすい。

ちょっと休憩. 日本アニメの中国名

- a. 龍猫()
 - b. 飛天紅猪侠()
 - c. 幽霊公主 ()
 - d. 側耳傾聽()
 - e. 怪医黒傑克()
 - f. 桜桃小丸子()
 - g. 蠟筆小新()
 - h. 龍珠 ()
 - i. 航海王()
 - j. 接触 ()
- 江利川氏講演から

ちょっと休憩. 日本アニメの中国名

- a. 龍猫(となりのトトロ)
- b. 飛天紅猪侠(紅の豚)
- c. 幽霊公主 (もののけ姫)
- d. 側耳傾聴(耳をすませば)
- e. 怪医黒傑克(ブラック・ジャック)
- f. 桜桃小丸子(ちびまる子ちゃん)
- g. 蠟筆小新(クレヨンしんちゃん)
- h. 龍珠 (ドラゴンボール)
- i. 航海王(ワンピース)
- j. 接触 (タッチ)

江利川氏講演から

6 ワークショップ④ 英語の歌の学習と鑑賞

Reading-Listening方式

(1) 英語の歌の導入は意外と難しい！

歌詞の意味をくどくど解説すると、だんだん下を向いてしまう。歌の内容を考えないと、浅くなってしまう。

(2) グループを活用し、歌詞の内容も考え、鑑賞までめざせるのがこの方法。

(3) この方法を使うようになってから失敗はなくなった。

(4) “進化版”：未習単語をはじめに英日で学んでしまうのが、“簡略版”Reading-Listening方式。

報告 総合の時間で世界を学ぶ

1年生：福祉、2年生：環境、
3年生：国際理解

環境学習では

- (1) DVD視聴 「地球温暖化の1秒」
「世界一エコな生活をするコンソの人々」
「環境活動家 楊勇」
- (2) 講演会 「地球温暖化防止と再生可能エネルギー」、
「日常生活と水環境」
- (3) 3年生ではDVD「不都合な真実」を見る

報告 卒業論文として、 My Dream、My Opinionを書き、交流する。

- (1) 中学3年間の学びの総まとめとして、卒業論文を書かせる。本音で書いて欲しかった。
- (2) 論文の型(Opening, Body, Ending)を教える。
- (3) 仲間と力を合わせ、全員がMy Dreamを書き、36人(96人中)がMy Opinionを書く。感激！
- (4) 卒業式前日の「感謝と激励のつどい」で、「My Dreamを書いてもらった。20年後に会い、どんなふう頑張っているのか、楽しみにしている。先生も夢に向かって頑張る」と話した。生徒に課題を与えて、送り出した。
- (5) 実は、その後、サプライズで退職を祝ってもらった。勢いで、「いや、40年後にも会いたい」と言ってしまった！

報告 生徒の寄せ書きの中から

とても多かったのは、「英語の授業がよくわかり、楽しかった。ありがとうございました。」というもの。それ以外では...

◎ 英語の授業だけでなく、いろいろなことを私たちに教え、また支えてくれて本当にありがとうございました。三年間楽しかったです。 UYさん

◎ 先生のご指導のおかげでここまで素晴らしい学年をつくり上げることができました。これからはお体に気をつけて、楽しい生活を過ごしてください。 KRさん

◎ 3年間ありがとうございました。先生の授業はわかりやすく、楽しかったです。お身体に気をつけて、大学院でも頑張ってください。 SUさん

◎ 厳しくもやさしい根岸先生、今までありがとうございました。Have a nice day! TD君

◎ 3年間お世話になりました。めっちゃ迷惑かけてしまってますみませんでした。これからも元気でいてください。 KUさん

◎ 優しくとても良い先生でした。3年間ありがとうございました。 YYさん

◎ 3年間お世話になりました。素直になれず、先生にあたってしまいました。すみません。でもすごく尊敬しています。 KMさん

◎ 3年間ありがとうございました！これからは大学での勉強と大好きな登山を、身体に気をつけて楽しんでください。 MN君

1、2年生にはインフルエンザで学級閉鎖がある中、3年生は全員健康で出席し、素晴らしい卒業式が行われました。学年の奇跡(その②)。

まとめ 共生の時代を生きる学習者を育てる

- (1) 英語教育を通して、学力形成と人格形成をめざす。
- (2) わかる、楽しい、仲間と、表現できる、をめざす。
- (3) 2つの目的を実現する教材を開発し、方法を工夫。

21世紀を共に生きる人間を育てる。

- (4) 協同学習で、「楽しく学び、英語力と人間的力を高めていく」。そのための研究と実践と交流も協同的に。
- (5) 英語教師(教師)は、学力形成と人格形成を進められるととてもやりがいのある職業。
- (6) 最後に、(英語)教師の実践力をどう高めるか？

「実践力を高めるための『お勧め十カ条』(2010,根岸)

Thank you very much for attending!